

特別支援教育の充実へ

特別支援教育関連の3つの研修会を振り返ります。県南教育事務所では、今年度も奥州市立中学校と一関市立小学校の指導教諭、県立前沢明峰支援学校及び一関清明支援学校の先生方にも協力をいただいて特別支援教育関係の研修会を行いました。なお、今年度は特別支援学級における「個別の教育支援計画」の作成率100%を目標にしています。

特別支援教育新任担当教員研修講座

(6月10日開催)

新任担当者悉皆研修

一関市立山目小学校と県立一関清明支援学校を会場に新しく特別支援学級、通級指導教室の担任になった先生方へ以下の研修を行いました。

- 授業参観と研究協議(山目小学校特別支援学級6学級のモデル授業公開)
- 講義「障がいの基本的理解と『個別の教育支援計画』について」
- 協議「特別支援教育における日常の指導の問題点や悩み」

研修者の声

- ・児童個々に何をすればよいのかが明確に示され、達成感と成就感のある授業が展開されていた。
- ・子どもたちの困り感を想像し、寄り添う指導を心がけたい。
- ・一関清明支援学校の先生から、生徒一人一人の行動の記録をとり、学ぶ環境づくりに生かしていくことの必要性を学んだ。

特別支援教育支援員等研修会 希望研修

(6月16日 奥州会場、6月17日 一関会場)

初任者向けと経験者向けの講義2コースを設けた特別支援教育支援員を対象とした研修を行いました。希望研修でしたが50名近い参加がありました。内容は以下のとおりです。

- 講義「障がいの基本的理解と望ましい支援の在り方」
- 協議「望ましい支援の在り方について」



研修者の声

- ・講義から、学習スタイルや児童が好むことを見極め、伝え方や関わり方を考えることを学んだ。
- ・協議では、前沢明峰支援学校の先生から「個別にタイムリーに評価すること」「必要に応じて場面を切り替えること」を助言いただいたり、ベテラン支援員さんから「ルールをはっきりする」など、指導のアイデアをもらったりした。

特別支援教育コーディネーター研修会

(7月29日開催)

希望研修

個別の教育支援計画^{※1}を持参いただいたの研修会でした。夏季休業中の希望研修でしたが、校内における特別支援教育を推進する中心的役割を担う先生40名の参加がありました。内容は以下のとおりです。

- 講義A「特別支援教育コーディネーターの役割」
- 講義B「いわての特別支援教育推進プラン^{※2}の推進」
- 個別の教育支援計画の作成及び活用について
- 事例紹介「校内体制による指導の実際」一関市立巖美中学校 石川律子教諭
- 協議「特別な支援を要する児童生徒への望ましい校内支援の在り方」

研修者の声

- ・校内や保護者との方針の共有、外部機関及び小中連携の必要性を改めて実感した。
- ・将来の姿を想像し、夢をもちながら支援にあたりたい。
- ・進路選択に関わって、早期の段階から継続的につないでいくことが大切である。
- ・他校の教育相談や外部機関との連携のしかたが参考になった。

個別の教育支援計画 (※1)

他機関との連携を図るための長期的な視点に立った計画。一人一人の障害のある子どもについて、乳幼児期から学校卒業後までの一貫した長期的な計画を学校が中心となって作成。作成に当たっては関係機関との連携が必要。また保護者の参画や意見等を聴くことなどが求められる。(文部科学省HPより)

いわての特別支援教育推進プラン(※2)

「つなぐ」「いかす」「支える」の3つのキーワードのもと、早期からの支援の充実、卒業後を見据えた支援の充実、地域資源を活用した指導・支援の充実、教職員等の専門性の向上など、特別な支援を必要とする子どもの社会参加と自立に向けた取組。(岩手県教育委員会HPより)